



平成22年8月10日

各位

上場会社名 長野計器株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮下 茂
 (コード番号 7715)
 問合せ先責任者 取締役 上席執行役員 経営企画部長 眞島 政弘
 (TEL 03-3776-5379)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月12日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,750	450	330	270	14.08
今回発表予想(B)	19,170	580	430	290	15.12
増減額(B-A)	1,420	130	100	20	
増減率(%)	8.0	28.9	30.3	7.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	14,185	△1,250	△1,285	△3,436	△179.46

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,560	960	690	580	30.24
今回発表予想(B)	37,680	1,300	940	680	35.45
増減額(B-A)	2,120	340	250	100	
増減率(%)	6.0	35.4	36.2	17.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	31,754	△811	△830	△2,743	△143.30

平成23年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,340	250	350	330	17.20
今回発表予想(B)	9,230	500	580	500	26.07
増減額(B-A)	890	250	230	170	
増減率(%)	10.7	100.0	65.7	51.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	6,050	△870	△719	△2,854	△149.09

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,740	550	670	620	32.32
今回発表予想(B)	17,830	880	960	900	46.92
増減額(B-A)	1,090	330	290	280	
増減率(%)	6.5	60.0	43.3	45.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	14,240	△688	△557	△2,244	△117.23

修正の理由

売上高は、第1四半期におきましては、当社グループが関連する産業機械業界・半導体業界・建設機械業界・空圧機器業界向けが好調に推移したことから、圧力計事業及び圧力センサ事業並びに計測制御機器事業等に亘り、当初計画を上回りました。

第3四半期以降の売上高は、経済環境が不透明な状況下にあります。全般的にこの流れを受けて推移するものと見込んでおります。

損益面におきましては、外国為替相場の変動による影響が懸念されるものの、継続的に取り組んでおります原価低減活動等により営業利益・経常利益・当期純利益は、前回予想を上回る見込みです。

● 配当予想の修正について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月12日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	5.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当社は、経営の基本方針のもと、経営の効率化により収益の向上を図り株主の皆様に対する利益還元を行うことを経営の重要政策の一つと考えており、将来の経営基盤強化のための内部留保の充実を図りつつ業績を勘案し、配当を安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。

平成23年3月期の配当につきましては、平成22年5月12日公表の「平成22年3月期 決算短信」におきまして、経営環境の先行きが不透明であることから未定とさせていただいておりましたが、第2四半期累計期間の業績見通し等を総合的に勘案した結果、1株当たり配当金の予想を中間配当5円とさせていただきます。なお、期末配当につきましては、第3四半期以降の経営環境が不透明であることを勘案し、現時点では未定とさせていただきます。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上